

植物科学による生産性向上の可能性を探る

日時：2026年11月30日（月）10:00-17:30（開場9:30）
場所：東京大学弥生講堂一条ホール／オンライン（zoom Webinar）
参加申込み：QRコードから登録（要事前登録）



■午前の部

開会挨拶 佐藤 宏之（農業・食品産業技術総合研究機構）

10:05 岡田 将誌（国立環境研究所）
「植物の水利用から考える将来の食料生産～気候変動下における全球作物モデルによる評価～」

10:30 小川 大輔（農業・食品産業技術総合研究機構）
「近代水稻品種の多収性を支える遺伝子組み合わせ」

10:55 梅澤 泰史（東京農工大学）
「リン酸化プロテオミクスで切り開く植物の環境応答メカニズム」

11:20 反田 直之（大阪公立大学）
「植物の食害防御におけるホウ素の役割の検証」

■午後の部

13:00 三輪 京子（北海道大学）
「翻訳制御を活用した新たな育種技術の開発」

13:25 太治 輝昭（東京農業大学）
「耐性のことは耐性植物に聞け～シロイヌナズナ野生系統から耐塩性の技を学ぶ～」

13:50 河合 翼（農業・食品産業技術総合研究機構）
「気候変動対応型水稻の創出に向けたイネ根系デザイン」

14:15 鐘ヶ江 弘美（農業・食品産業技術総合研究機構）
「植物科学とデータ科学が拓く育種の未来～育種支援システムNAROBSSの開発と社会実装～」

（休憩）

14:50 郭 威（東京大学）
「栽培・育種を支えるフィールドフェノミクス：高効率な観測から農業フィジカルAIへの展望」

15:15 磯部 祥子（東京大学）
「植物を「見る」「読む」「予測する」～AI時代の園芸育種～」

15:40 峰野 博史（静岡大学）
「AI・IoT・デジタルツインによるスマート施設園芸の実現に向けて」

16:05 中道 貴也（AGRI SMILE）
「バイオスティミュラント普及活動の現状と課題」

16:30 各省庁等の取組み紹介（文部科学省、農林水産省、NEDO、環境省） および 総合討論

閉会挨拶 出村 拓（奈良先端科学技術大学院大学）

※ 講演者、講演タイトルは事情により変更となる場合がございます。

2026年
11/30（月）

10:00-17:30（開場 9:30）

東京大学 弥生講堂
一条ホール

17:30～情報交換会

参加費1000円

主催

農業・食品産業技術総合研究機構
理化学研究所 環境資源科学研究センター
大学植物科学研究者ネットワーク
産業技術総合研究所
国立環境研究所

お問合せ

農研機構 作物研究部門 研究推進室
植物科学シンポジウム事務局

〒305-8518

茨城県つくば市観音台2-1-2

E-mail : sh-greentech@naro.go.jp